

【1 分解説】 ワークーションとは？

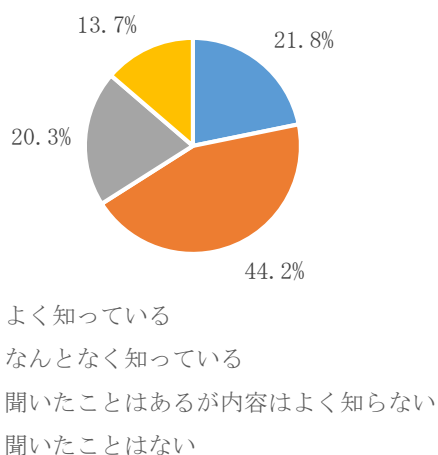
総合調査部 マクロ環境調査グループ 研究理事 今泉 典彦

「ワークーション」とは、ワーク（仕事）とバケーション（休暇）を組み合わせた造語であり、その定義や解釈は様々ありますが、要約すれば「ワークーションは普段の職場とは異なる地域への滞在とともに行うテレワーク」といえます。

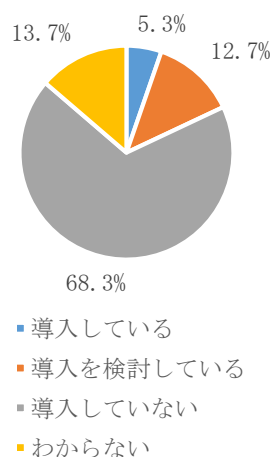
観光庁の調べ（2022年3月）によると、ワークーションの認知度については66.0%（よく知っている21.8%+なんとなく知っている44.2%）とかなり浸透しています（資料1）が、実際の導入率は5.3%にとどまります（資料2）。

ワークーション導入により期待できる効果は、導入する企業・従業員、地方自治体、観光業界の3者のうち、企業・従業員にとっては、有給休暇の取得促進など働き方（休み方）改革になり、従業員のエンゲージメントの向上・企業の魅力度アップにつながります。地方自治体にとっては、関係人口の増大による地域経済の活性化やリピーターの増加につながり、観光業界にとっても、観光需要の分散化・平準化による業況の改善となるでしょう。このように、ワークーションは企業・従業員、地方自治体、観光業界の3者にとって価値のある、まさに「三方良し」を体現する施策です。

資料1 ワークーションの認知



資料2 ワークーションの導入



（出所）観光庁「今年度事業の結果報告」2022年3月より第一生命経済研究所作成

関連レポート

・「なぜ今、ワークーション制度なのか～企業向けワークーション導入ガイドの活用に向けて～」

（2022年9月） <https://www.dlri.co.jp/report/ld/202875.html>